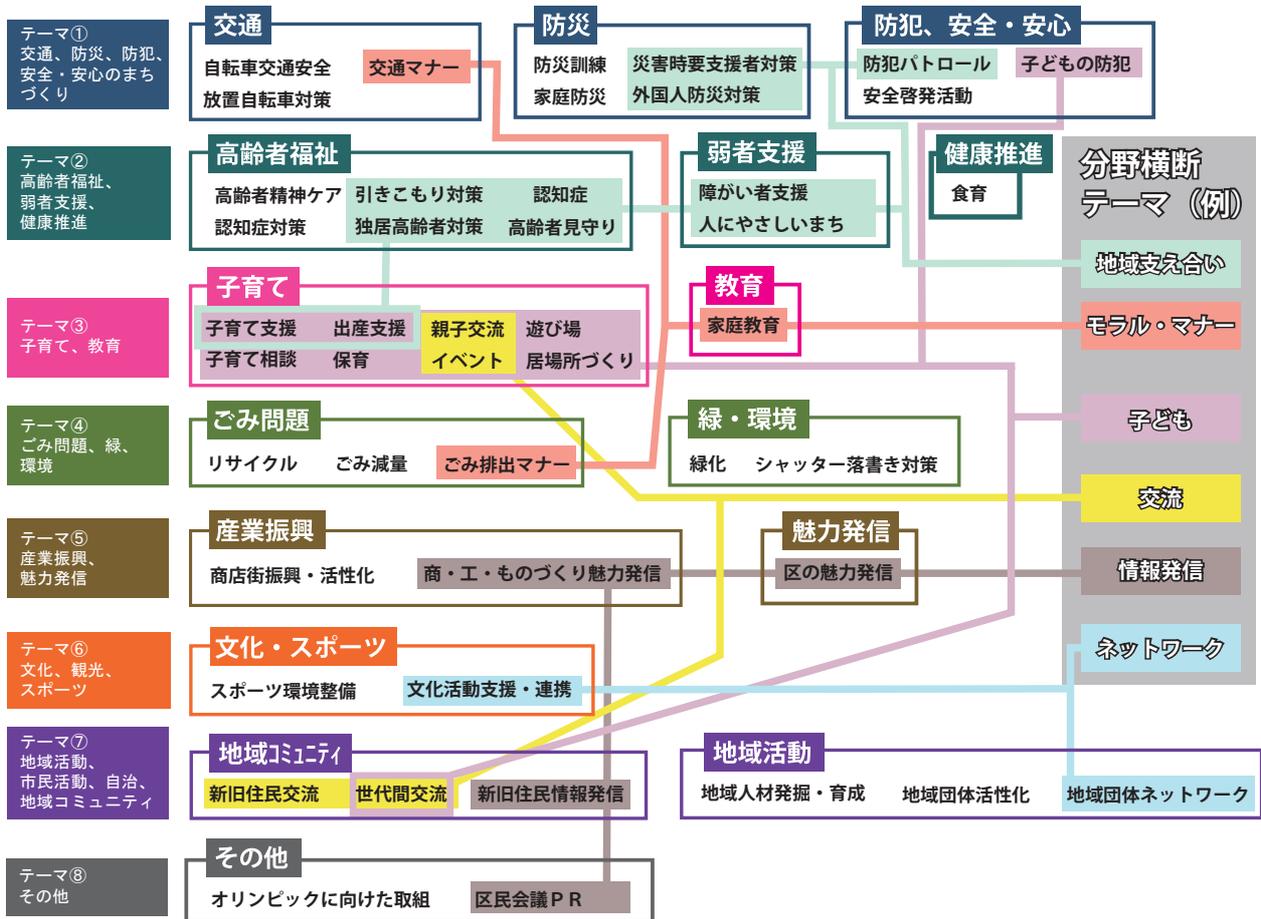


2. 各委員からの提案

各委員から、「区民会議で取り組みたいテーマ、地域課題」として提案された内容を分野別に整理した結果は次のとおりです。

【図：委員提案内容の分野別整理（第1回区民会議資料）】



全体としてみると、「子育て」「地域コミュニティ・地域活動」に係る課題への提案が大変多くあげられました。特に武蔵小杉駅周辺を中心に、若い世代を含めた新たな区民の転入が増えていることを踏まえた意見が目立ちました。

次に多かったのが「交通、防災」に関する意見でした。交通では自転車の事故やマナー、防災では、外国人や高齢者などの災害弱者への支援に関する意見などが出されました。

その他、高齢者の引きこもり対策や健康維持、見守り等の「高齢者福祉」の課題、ごみ減量、リサイクル、排出マナー等ごみ問題に関する課題についても複数の意見が出されました。

分野を横断的に捉えてテーマを設定することについても検討しました。例えば「情報発信（魅力発信）」「ネットワーク」「弱者支援（地域支え合い）」など、複数の分野にまたがった審議テーマも提案されました。

【委員提案 分野別の地域課題 主な意見】

委員からあげられた分野別の地域課題への主な意見は次のとおりです。

交通、防災、防犯、安全・安心のまちづくり

交通…交通マナー、自転車交通安全、放置自転車対策など

- ・自転車の重大事故が増えている。ルールを守らない人が多く、危険を感じることもある。

防災…災害時要支援者対策、防災訓練、外国人防災、家庭防災など

- ・災害時の一人暮らし老人の避難、個人情報扱いが課題である。
- ・防災訓練等は地域単位で行われているが、今一つ有機的連携に欠けている。
- ・災害発生時における外国籍の区民との相互支援・協力を進めたい。

防犯、安全・安心

- ・子どもをねらった犯罪を防止する活動をしたい。
- ・安全安心のまちづくり。防犯指導員等による防犯パトロールの強化。

高齢者福祉、弱者支援、健康推進

高齢者福祉…引きこもり、認知症などへの支援、高齢者への精神的なケア、高齢者見守りなど

- ・地域で引きこもりがちの高齢者の外出機会をつくる活動を展開する。
- ・健康問題も大切だが、精神的なケアを進めることで幸せな高齢者が多くなると思う。

弱者支援

- ・その人の障害にあわせた支援、意見聴取による課題出しが重要だ。
- ・高齢者にも、子どもたちにも、人にやさしいまちの実現。

健康推進

- ・食育をキーワードとした、高齢者や一人暮らしの方たちへの食事指導など。

子育て、教育

子育て…遊び場・居場所づくり、親子の交流・イベントの場、子育て支援・相談など

- ・放課後や長期休み期間の遊び場や家庭外の居場所づくり。
- ・親子で参加できるイベントの企画。親子共同作業など、親世代にも向けた内容。
- ・育児に悩んでいる母親が参加できる仕組みをもっと考えたい。
- ・中高生世代が悩みを気軽に相談できる場所や遊べるスペース。
- ・高齢者が子育てに関わる。年配の方と子どもたちが自然に交流できる場の充実。
- ・託児支援、地域クラブなどの充実による子育てしやすいまちづくり。

教育…家庭教育

ごみ問題、緑、環境**ごみ問題…リサイクル・ごみ減量、ごみ排出マナー**

- ・不用品の活用。住宅、商店、工場、企業などが一体となってごみのリサイクル。
- ・きれいなまちの実現で犯罪を減らし、安全・安心にもつなげる。
- ・以前よりごみ集積所がきれいになったが、場所によっては汚く、無法地帯が見られる。

緑・環境…緑化、シャッター落書き対策**産業振興、魅力発信****産業振興…商店街振興・活性化**

- ・商店街の魅力発信。大型集合住宅とも連携した商店街の活性化。
- ・町工場等、区内の商業、工業、ものづくりを応援し、その魅力を発信する。

魅力発信**文化、観光、スポーツ****文化・スポーツ…文化活動・スポーツ**

- ・伝統文化・芸能・行事等の継承。サークル活動の支援等のパイプ役を果たす。
- ・スポーツ環境の整備。特に少年スポーツのグラウンド等。高齢者の野球も盛ん。

地域活動・市民活動・自治・地域コミュニティ**地域コミュニティ…住民交流、世代間交流、地域情報マップ**

- ・従来からの居住者と新しい居住者の交流と地域の再発見。区をあげて取り組む。
- ・区内の各地域で行われる年間行事を取り入れた地域マップ作成などのイベント企画。

地域活動…人材発掘・育成、団体ネットワーク、町内会・自治会活動の活性化

- ・新しく中原区に住む人たちに地域に目を向けてもらう試み。
- ・地域に根差したボランティア資源の発掘と育成。
- ・若い世代の地域活動への参加促進。
- ・町内会の高齢化、地域の担い手不足対策。

その他

- ・区民会議のPR、オリンピック・パラリンピックに向けた取組。

3. 審議テーマの絞り込み・決定

各委員から出され、整理された審議テーマ案を、運営部会で次の観点に基づいて再検討し、テーマの絞り込みを行いました。第2回区民会議で、その検討結果に対する意見交換を経て、第5期区民会議の一つ目の審議テーマが決定しました。

① 中原区の現状・課題の確認

- 武蔵小杉駅周辺を中心とした再開発等によって、新たな価値観、地域観を持つ区民が増加していることが中原区の現状・特徴である。
- 中原区の今後の継続的な発展には、こうした区民の方々に地域に愛着を持っていただき、未長く住み続けてもらうことが必要である。
- 地域コミュニティにおける区民の交流・助け合いを深めていくことが第一歩となる。

② 区民会議の審議にふさわしいテーマの検討

- 多様な区民・主体が共に取り組めるテーマ
- 誰もが参加しやすく、区民が一体となって取り組めるテーマ
- 既存の取組との連携、展開が可能であって、目標・成果が提示しやすいテーマ

③ 審議テーマ「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」

- 主眼は「地域コミュニティ」。その充実が、全ての地域課題の解決につながる。
- まちの美化、地域の環境の保護や改善の課題は、全区民が当事者感覚を得やすく、様々な主体や地域単位での取組が拡げやすい、成果も見えやすい。
- 「よりきれいな地域」の実現が、「コミュニティの絆の形成」や「地域の魅力発信」につながる。地域への意識・知識を深め、行動・参加につなげたい。

■ 任期（2年間）内の審議テーマ数の検討

- ・ 第5期でのテーマ数は2つとする。（調査・審議に十分な時間を得るため。）
- ・ 一つ目の審議テーマの審議期間は、概ね平成27年5月頃までとし、二つ目の審議テーマの選定もその時期に行う。（緊急性の高い課題等への対応の可能性）